

活動助成（2009年度募集）活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人 Basic Life Support KOBE
活動テーマ	<p>救急処置を行なうことの大切さと重要性を、企業や学校において講習を行なうことにより広めていきたい。また、イベントでの救護活動等で参加者がイベントに安心して参加できる環境を作ることにより、地域社会の活性化に役立ちたい。</p> <p style="font-size: 2em;">〔</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生、応急手当の講習、及び普及活動 ・イベントでの救護活動 ・災害時の救護所における後方支援活動 <p style="font-size: 2em;">〕</p>



【活動趣旨】

AED設置台数は年々増加し、わが国では約20万台に達したが、実際事故現場においてすみやかな対応するには一人でも多くの市民がAED・心肺蘇生法に関する知識を有することが何より重要だと考えました。市民救命講習等により集まった有志にて、企業や学校にて市民救命講習を始め、各種の消防行事や神戸市主催の数々のイベントでの救護活動に取り組み、第一次救命処置の普及、啓発のため日々勉強しながら現在に至っています。

【活動内容】

神戸市内で開催される主なイベント（神戸まつり、花火大会、ハーフマラソン、ルミナリエ等）に救護班として参加しました。（年間32件）イベント会場に救護所を設け、待機、あるいは会場内を巡回し、怪我人等の手当てを行ないました。参加者やスタッフの方々が安心してイベントに参加できる環境を作っています。

心肺蘇生法・AED講習も行っており、警備会社やスポーツチーム、レジャー団体等に講習を行ないました。また、東日本大震災の発生直後には、災害救護の一環として救援物資を調達し、被災地域（福島県南相馬市避難所・南相馬総合病院・小野田病院等）まで届けるとともに、被災者を元気づけるイベントにおいても、炊き出し班、救護スタッフとして参加しました。